



2014年1月号

りっぷ ろーかる いんふおーめーしょん ペーパー
L I P (Local Information Paper) とは……

ひらかたし市民はつ ふくし きょういく ぶんか かんきょう
枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの

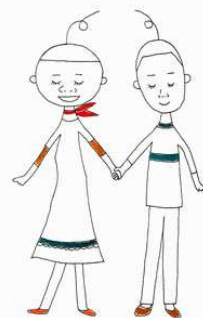
じょうほう けいさい ちい きみちやくがたじょうほうし
情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。



【おおさか発】障害のある子ども「ともに学ぶ」教育のいま

ともにまなぶ
ともにいきる

2013
冬
第1号



【特集】
学校を出てからも、地域でともに生きたい。
「ともに学ぶ」にとから生まれるもの 障害のない子どもにとっての「ともに学ぶ」教育
障害のある生徒はいずれからいふ 障害のある教育はこうしてつくられてきた



- ◆ 『もぐらの目』 35 能
- ◆ ついに完成♪ 極少出版『春へまっすぐ』
- ◆ 講演報告 「人としてあたりまえにつきあうことの大切さ」
- ◆ 雑誌「ともにまなぶ ともにいきる」を創刊しました♪
- ◆ 今月の五行歌 ◆ 100号記念メッセージ
- ◆ イベント紹介 ◆ 編集局より/LIP配布場所/会計報告

「L I P編集局」 <http://www.love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18 時以降) FAX: 020-4665-8668

郵便振替口座 00920-8-120259 (L I P編集局)

「もぐらの目」三十五

鶴島緋沙子

能

五十年來の友人、アメリカはミネソタ州、ミネアポリスに住む、元ミネソタ大学医学部教授の外科医、グッデル夫妻の紹介で、アビー・セバリという二十歳代のアメリカ美人が、大阪にやって来た。彼女は、ニューヨークなどの劇場で舞台衣装を考案するデザイナー。前々から、日本の、特に古典芸能の衣装に興味があり、昨年四月の来日時には、一緒に京都の都踊り見物をして、そのあと相国寺で開催されていた能衣装の展示会に案内したのがきっかけで、今回は、能舞台を是非観たいという強い希望だった。幸い、やはりグッデルさんを通しての知人、大阪府茨木市に住む旧家の奥様で自身も能を習い、能のあれこれには精通しておられる、岡竹様のアレンジで大阪の古い『山本能舞台』でのプライベートで貴重な時間を創って頂いた。

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」や、「私の中の瀬戸内寂聴」(いずれも、つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文芸科」講師。また、「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方の自閉症児(者)親の会」の代表です。「もぐらの目」は、隔月連載の予定。これまでの連載をまとめた著書「もぐらの目」が、つげ書房新社から刊行されています。 URL : <http://zz.tc/tommy>

大阪市中
央区のオ
フイス街
の中に
ひっそり
と佇む能
楽堂であ
る。扉を
開けると



周りの喧騒からは想像出来ない異次元のような空間が広がる。この舞台は、信州山本城諏訪盛重に発した山本家が昭和二年に当地に設立し、戦災に遭い、戦後、再建築したという伝統のある格式高い舞台である。自ずと身が引き締まる。

その日は、アビーの日本での友人、八人ほどが集い、山本家当主、山本博通氏のご説明で、能面、衣装、扇、楽器など、いくつも手にとらせて戴き、着付けまでご披露戴いた。そのあと博通氏とお弟子さんが演じる『羽衣』を観賞させて戴いた上、『羽衣』の楽譜を手に皆で声を出す。最後のきわめつき、全員、これも用意されていた白足袋を付け舞台に上がって、博通氏から歩き方の指導を受けることになった。おっちょこちょいの私は、転ぶのを案じて見物に回った。

間近で観る博通氏の力強く優雅な足裁き。十分ほど、その指導を受けた面々も、それなりに形になっている。超ビッグサイズの白足袋を履いたアビーの見事なすり足と笑顔。

三間四方の舞台の前に小さなぎざしがあ
る。それを渡ると、もはや幽玄の世界。能面
を被ると足元が見えないので、舞台から落ち
ないように役者は、四本の柱を目当てに動く

ことや、音響効果を上げるため、普通、舞
台の下に水を入れた大きな瓶が、十二個も並
べられていることなどの知識も得る。
一人の若い外国からの研究者を、裏舞台の
公開も含めて、とことんもてなす『山本能楽
堂』の誠意に本当の意味での伝統を守る良き
保守精神を見た気がした。

瀬戸内寂聴の長編小説「秘花」は、中世(一
三八〇年代)に生きた『能』の始祖、世阿弥
が主人公だ。後に権力者足利義満によって、
男色まで強制されやがて佐渡へ流刑され、孤
独な死を迎える。そんな世阿弥は、大和申楽
観世座の創始者観阿弥清次の子で、父の並外
れた上昇志向のお陰で武士世界に根を下ろし、
その芸が、古典文化の代表「能」となる。

歌舞伎も遡ると、似たような経緯がある。
どちらも始まりは庶民も庶民、社会の最下部
層の、虐げられた民の思いを風刺や笑いに変
え、芸に込めた、アンチ権力の思想であるは
ずである。それを取り上げた為政者。それが、
およそ七〇〇年の時を経て、今や庶民の耳と
口を封じる法律まで作ろうとしている。
能や歌舞伎のチケット料金をせめて映画な
みにというような、権力者はいないものか。



ついに完成♪

自閉症者と暮らす家族を描く。 母親による渾身の作品！

“プロでもない、素人でもない、マニアだからできること”をキャッチフレーズに、極少出版を実践しています。「手作りマニア」であり、「書籍マニア」でもあるからこそ、智恵と創意工夫を重ねて極少出版を実現しました！



200部限定の極少出版！
Amazon Kindle 版の
電子書籍も同時発売！

自閉症の長男との生活について今まで書きためたものです。自分自身のこれまでの人生の区切りとして出版しようと思いました。今も毎日の生活は手探りの部分も多く、長男に快適な生活を提供しているとはいえません。また、家族が負担を感じないで自然に暮らしているのか分らない時もあります。けれど、どうしようもない暗闇の中で立ちすくんでいる方々へ、春へまっすぐにつきすすみましょう、一緒に、と書き上げた今、改めて思うのです。
(著者あとがきより)

- ◆著者 松 ゆうき
- ◆A5判 138頁
- ◆予定価格 1冊1100円

◆予約連絡先

TEL 090-8575-9160 (松崎)

E-mail matsuyuki1145@yahoo.co.jp

- ◆発行者連絡先 nabe@love-dugong.net (とれぶ出版部)

本紙連載『もぐらの目』でおなじみ、鶴島緋沙子さんが代表をつとめる「枚方自閉症児（者）親の会」主催の座談会が先日、行われました（2013年9月12日、ラポールひらかた）。

話題提供として講演をされたのが、宮本岳緒さん。幼いころから障害のある子どもたちとともに過ごしてきて、現在、障害のある人たちが多数通う精神科の診療所で職員として働いておられます。

宮本さんの講演は、障害のある人となない人が「ともに生きる」ということについて、あらためて深く考えさせられる内容でした。お話のあらましを紹介します。

「枚方自閉症児（者）親の会」座談会の講演から 障害があってもなくても、人としてあたりまえにつきあうことの大切さ

■いっしょに遊んでいて、心が通じるようになったと頭をかいたそうです。

小学校時代、「自閉症」といわれるAくんが同じクラスにいて、同級生みんなと仲よく遊んでいたという宮本さん。当時の思い出話から、講演が始まりました。

1年生で初めて同じクラスになった時、Aくんがひとりでブツブツしゃべっていたり、いきなり怒りだしたりするのを見て、宮本さんは「変わった子やなあ」と思っていたそうです。それが、5年生の時にいっしょに遊ぶようになって、少しずつ、Aくんと心が通じあうようになりました。

Aくんは、同じことを話しかけても、その日によって、急に怒る時と怒らない時とがあります。また、突然、「バシーッ！ バシーッ！」と言って、パンチやキックを浴びせてくることも。初めはそれが不思議でしたが、

毎日つきあっているうちに、「いま話しかけたら怒るだろう」とか、「いまなら大丈夫だろう」というのが感覚的にわかるようになっていったといいます。

人の話が全然、耳に入っていないように見えるAくんが、実はすべて聞いているのだと判明したできごともありました。男子で集まって、好きな女の子のことや性的な話題を話していたら、Aくんはその時は反応を示さなかったのに、終礼の時、クラス中に聞こえる声で「〇〇くん、エッチなんです！」と言ったのです。宮本さんたちは「やっぱりあいつ、話、聞いてるで。うかつに変なこと言われへんなあ」

■言えば、やっぱりわかってくれるんじゃないか

そうやって、Aくんとともに過ごすなかで、宮本さんは、「たとえ会話は成り立たなくても、表情や雰囲気、気持ちに通じあえる」こと、「こちらの言うことを聞いていないような人でも、実は聞いているし、理解もしている」ことに気づかされたと言います。

いま、勤め先の診療所に来る患者さんのなかには、意味のよく通じないことばを一方向的にまくしたてる

人や、診療所内の備品に付いてるシールをはがしたくなって、やりだすとなかなか止まらない人がいます。そういう人たちは「言ってもわからない」と思われがちですが、宮本さんは「やっぱり、わかってくれるんじゃないか」と考えます。実際、言えば伝わると

いう思いで接していると、どこかで気持ちが通じる瞬間に出会えるそうです。

逆に、こちらが「言ってもムダ」と思っていると、相手は心を開いてくれません。障害のある子どもが診察を受けに来た時、医師がその子にきちんと話しかけると、落ち着いた人間関係が成り立つ子ども、付き添ってきた親御さんが「この子は何を言ってもわからないんです」などと言うと、叫びだしたり、暴れだしたりすることがあるのだとか。

「ことばも単語も全然わからないような人でも、相手に興味をもち、相手のことを知りたいという思



いをこちらが示せば、必ず気持ちに通じるはず」と、宮本さんは言います。

■障害があっても、責任をもたせてあげるべき

講演の後半では、障害のある子の中学校卒業後の進路について、宮本さんがこれまで接してきた人たちの具体的な事例を話していただきました。

ある人は、中学校の先生から支援学校の高等部に行くことをすすめられましたが、本人が将来、大学に進学したいという強い希望をもっていたため、支援学校を選ばず、普通高校に進学しました。いまは高校を卒業して、望みどおり大学に進学しています。

一方、先生や親に言われるがままに支援学校に行ったものの、「障害者」というレッテルを貼られるような気がして抵抗感をもち、支援学校に行っていることを友だちに言えなかったり、卒業してから専修学校に行き直したりする例もあるそうです。

そうした事例から、宮本さんは「親や学校の希望だけでなく、本人の意思が尊重されているのか？」と疑問を投げかけます。

「本人の意思が尊重されていないと、あとでうまくいかなかった時に『お母さんが言ったからや』とか『僕は行きたくなかった』となりがち。障害があっても、自分で希望し、自分で選択させてあげること、責任をもたせてあげるべき」という宮本さんの意見は、胸にストンと落ちました。

お話を聴いて、私が実感したのは、障害があってもなくても、結局、人としてあたりまえにつきあうことがいちばん大切だということです。私は、学校の介助員やヘルパーの仕事もしていますが、そうやって、障害のある人の近くにいるほど、ついつい「支援の対象」として相手を見てしまい、自然に接することができなくなるところがあると思います。明日から、あらためて人間として向き合ってみようと、気持ちを新たにしました。（合田享史）

大阪で取り組まれてきた「ともに学ぶ」教育の価値を伝えたい

雑誌『ともにまなぶ ともにいきる』を創刊しました

大阪の学校では、40年以上前から、障害のある子もない子もいっしょの教室で学びあい、育ちあう「ともに学ぶ」教育の実践が取り組まれてきました。私は、この教育から生まれてくる子どもと子どもの関係、子どもとおとなの関係に、誰もが暮らしやすい共生社会をつくるための豊かな希望を感じ、ライターとして取材を続けています。

世間には意外と知られていない「ともに学ぶ」教育の価値を発信し、もっと多くの人に知ってもらいたいと、このたび、個人発行で雑誌を創刊しました。保護者のみなさん、学校の先生方、障害のある人（子ども）を支援している人たちに、ぜひお読みいただきたいと思っています。

（編集・発行人 まっすぐプランニング 合田享史）

〈創刊号の内容〉

- ・【特集】学校を出てからも、地域でともに生きたい。
- ・【シリーズ】「ともに学ぶ」ことから生まれるもの
- ・障害のある生徒のはいすくーるらいふ
- ・障害のない子どもにとっての「ともに学ぶ」教育
- ・豊中の教育はこうしてつくられてきた
- ・枚方の「みんながいきいきできる授業」の実践を学べる本



『ともにまなぶ ともにいきる』2013冬 第1号

B5判 50ページ 定価500円 ※郵送でお届けする場合：600円（送料含む）

購入ご希望の方は、お名前・ご住所・連絡先を書いて下記までメールでお申し込みください。

massugu.way@gmail.com（合田享史）

LIP 100号発行、おめでとうございます！

いつも、新鮮な話題や情報を提供していただき、「LIP 出来ました～」と持ってこられるのを楽しみにしています。

北河内ボランティアセンターは、ボランティアを求める人と、活動を希望される方をつなぐコーディネートをしており、2013年に設立30周年を迎えることが出来ました。

「継続は力なり」(ちょっと古臭い)も大切です。でも、LIPさんと一緒に、常に新しいことを発見してチャレンジしていきたいなと考えています。

これからも、ボランティア募集やセミナーなどの情報を掲載してくださいね。よろしくお願いいたします。

(特定非営利活動法人北河内ボランティアセンター

木村 雅代)



LIPが選ぶ

今月の五行歌

残った一枚のカレンダー
千田 収

そつとなでるとあたたかい
清んだこと全部

十一枚の紙切れとなって
どこかへ行った

中・高・大学と
まゆみ

息子の

三枚の寄せ書き

部活奮闘の

証

着膨れたお年寄り
ゆきまゆ

十四、五人

ベンチにずらり

等間隔

雀とも鳩とも言い難い

【五行歌ひらかたミニ歌会】

☆毎月一度月曜日午前10時半～12時半、メセナひらかた諸活動室で集まっています。

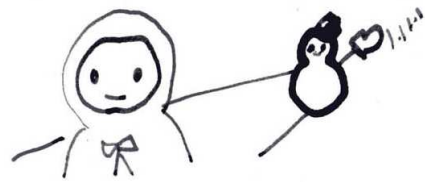
問合せ akkie.toyotaka@kud.biglobe.ne.jp または、090-5893-5635 (とよたか) まづ

イベント・サークル・ボランティア情報

みんなでつくる広場「ちょこっと」1月のイベント

- 1/8(水) 12時～16時 歌・おしゃべり・おぜんざい
 1/13(月) 13時～15時 遊びの広場(昔遊び) 100円
 1/15(水) 13:30～ 五行歌 100円
 1/18(土) 13:30～ 絵手紙サークル 200円
 場所: ちょこっと2階
 1/19(日) 10時～14時 バザー
 1/21(火) 14時～15:30 習字サークル 100円
 1/24(金) 10時～12時 健康広場 200円
 場所: ちょこっと2階
 1/26(日) 13:30～ みんなで歌おう・誕生会
 参加費 300円(コーヒー・ケーキ付)
 1/27(月) 13:30～15:00 はがき絵 200円
 2月予告
 2/1(土) 10時～12時 脳トレ 200円
 2/2(日) 13:30～15:30 アコーディオンライブ
 場所: 楠葉野田区公民館 300円
 ※自転車修理は下記に電話でご相談下さい

お問合せ 072-856-9439 080-3916-9147 (山本)
 ホームページ <http://tyokotto.justhpbbs.jp/>



【ボランティアしたい人 集まれ～!】

ボランティアをしてみたいけど、きっかけがなくて…。
 そんなあなたのためのボランティア体験プログラム『冬のボランティア』を開催します!
 知的障がいのある子どもたちと楽しい1日を過ごしませんか?

同世代のスタッフがサポートします! 安心してご参加ください。

日 時: 3/1(土) 10:30～16:30頃
 場 所: ラポールひらかた4階 大研修室
 参加費: 500円(昼食、保険料として)

対 象: 高校生～30歳代

定 員: 10名(先着順)

★知的障がいのある小学生も同時募集しています!!

申込み・お問合せ: NPO法人 北河内ボランティアセンター

Tel/Fax: 072-848-4166

E mail: npo-kvc@kit.hi-ho.ne.jp

— 学習会のご案内 —

テーマ 秘密保護法について考えよう

～私たちのくらしはどうなるの? 戦争への道?～

日時: 1月18日(土) 午後2時～4時

場所: 交野市・青年の家2F 203号室

(交野市駅より徒歩約5分)

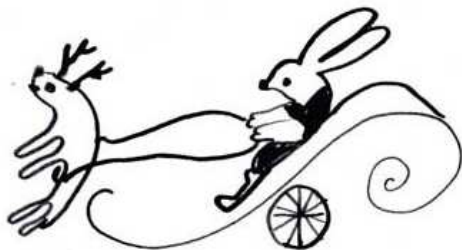
講師: 笠松 健一弁護士 (大阪弁護士会所属)

参加費: 500円

主催: 憲法とくらしを考える会

連絡先: 072-892-4938 (松村)

特定秘密保護法が強行採決されました。この法律が運用されると、私たちの生活にはどういう影響があるのでしょうか。この法律がどういうものか、今一度、じっくり見つめてみませんか。



北村小夜さん講演会

軍国主義の教育はどんな子どもを育てたのか?

二度と教え子を戦場に送らないために、今こそ、北村小夜さんから学ぼう!

日時: 1月26日(日) 14:00～

場所: PLP会館 5F 大会議室

(JR環状線天満駅下車5分、地下鉄堺筋線扇町駅下車3分)

主催: グループZAZA

止めよう! 子どもを戦場に送る国づくり

許すな! 「日の丸・君が代」強制

教育の国家支配に反対する2.11大阪集会

「建国記念の日」反対!

日時: 2月11日(火) 13:30～16:30 (その後デモ)

場所: 大阪市立西区民センター

(地下鉄 千日前線「西長堀」駅 ⑦番出口100m)

(地下鉄 鶴見緑地線「西長堀」駅 ③番出口100m)

講演: 三宅晶子さん(千葉大学教授)

『思想・良心の自由と教育の現在—ドイツ・日本の思想弾圧と戦後「想起の文化」を検証しつつ—』

資料代: 700円

主催: 「日の丸・君が代」強制反対・不起立処分を撤回させる大阪ネットワーク

【製本作業ボランティア募集 ♪】

自分たちの知恵と力で、自分たちの本を出版してみませんか。

1～200部程度の極少出版を実践しています。

作業を手伝ってみたい方募集しています。

作業は不定期に行っています。ボランティア登録していただくと、人手が必要ときに、メール等で参加募集させてもらうシステムです。

申込み・お問合せ: とれぶ出版部

E mail: nabe@love-dugong.net

LIPは、次の場所に置かせていただいています。

枚方市

- ★ 各生涯学習市民センター・図書館・メセナひらかた 3F ウィル・ひらかたNPOセンター
- ★ 枚方市ボランティアセンター [ラポールひらかた内 072-841-0181]
- ★ 北河内ボランティアセンター [磯島茶屋町20-1-101 072-848-4166]
- ★ 子ども家庭支援センター ファミリーポートひらかた [相模原町2-50-1 072-850-4400]
- ★ コミュニティカフェ テール [西栗野1-3-27 禁煙10分前 072-848-0418]
- ★ NPO法人 りりあん [長尾元町6-39-15 lilian@kcatzq.ne.jp]
- ★ 婦人洋品店 シャルム [南楠葉1丁目2-16 ぐずは公民館向かい 072-850-1362]
- ★ 喫茶 Dik Dik [岡本町8-17 072-846-5377]
- ★ 街かどデパートハウス 藤阪愛逢 [藤阪元町2-27-1 072-855-6978]
- ★ 泉屋 楠葉店 [楠葉並木2-2-2 072-868-3060]
- ★ 身体障害者共同作業所 キッズ枚方コミュニケーションズ [堤町2-1-103 072-861-6360]
- ★ 京阪総合会計事務所 [西栗野2-4-17 第5松葉ビル301 072-805-5252]
- ★ ヘアーサロンかわえら [長尾東町3-1-4 072-859-1601(予約優先)]
- ★ ソーイングの店 みなよし [香里ヶ丘3-11-3-4 072-854-0756]
- ★ 枚方市地域包括支援センター社協こもれび
[南楠葉1-30-1 エクセレントビル203号室 072-856-9177]
- ★ 割烹 千鳥 [岡東町12-13 ひらかたさんぽらざBIF 072-843-8114]
- ★ WAVE34(ボウリング場) [田口4-11-8 072-848-0450]
- ★ ヘアースタジオばべぼ [南楠葉2丁目4-3 072-850-9070]
- ★ 枚方市役所(市民活動課・環境総務課・人権政策室) [大垣内町2丁目1-20 072-841-1221]
- ★ 枚方市役所 津田支所 [津田北町2-25-1 072-858-1502]
- ★ (財)枚方市文化国際財団 [岡東町8-33 市民会館内 072-843-1122]
- ★ 枚方市総合福祉センター [津田東町2-26-1 072-858-5835]
- ★ 社会福祉法人 心愛 心学塾作業所 [大峰元町1丁目21-5 072-859-9194]
- ★ (社)福やなぎの里 精神障害者通所授産施設 びびるす [大字尊延寺2200 072-859-0245]
- ★ 全労済大阪府本部 共済ジョブ枚方 [大垣内町2-10-4 宮村第三ビル3F 072-804-5550]
- ★ NPO法人パーソナルサポートひらかた [中宮山戸町10-12-105 072-848-8825]
- ★ 自閉症療育センター Link [岡東町24-10 アイエス枚方ビル3階 072-841-2411]
- ★ 紅茶専門店VIE [南楠葉1-1-34 072-856-2355]
- ★ shot bar カボチャソース [枚野下島町14-22 072-809-7676]
- ★ ポパイ商店 [山之上2丁目16-9 072-846-7232]
- ★ NPO法人ハートネット [村野内町1-27 072-805-4373]
- ★ クッキー工房おれんじはうす [交北3丁目3-10 072-856-8378]
- ★ 陶器食器のお店 a new sprout [堤町2-14 072-846-9550]
- ★ 雑貨/カフェ ルポ・デ・ミディ [堤町10-12 072-843-1525]
- ★ マイウェイひらかた ワーク草笛 [藤阪天神町3-1 072-808-2031]
- ★ たかはま歯科医院 [津田駅前2丁目17-1-108 072-896-1180]
- ★ 渦潮ベーカリー楠葉店 [町楠葉1-30-6 072-856-5420]
- ★ 枚方市野外活動センター [穂谷4550 番地 072-858-0300]
- ★ 社会福祉法人くくみ会「清水園」 [津田873-2 072-896-1600]
- ★ 輝きプラザ「きらら」 [車塚1-1-1]
- ★ 三代目たぐちゃん ピーコ [枚野南2丁目7-30 080-3785-1728]
- ★ MIKIHOUSE キャラメル [枚野南2-9-15-105 072-857-6626]
- ★ 株式会社 丸天酒店 [枚野南2-5-23 0120-39-7003]
- ★ MogalogaDining 枚方宿 [堤町2-15 072-846-3535]
- ★ bar moonshine [宇山町4-8 072-866-5667]
- ★ ぶらっとホーム・すがらひかし [藤阪東町3-1-11 072-859-5005]
- ★ とくふうホーム [大字尊延寺4592-24 072-858-4058]
- ★ 音楽療法スペース ウッドヴィレッジ [枚野下島町9-12 070-857-3540]
- ★ みんなでつくる広場「ちよこつ」 [楠葉野田2-30-8 072-856-9439]
- ★ スパレイ枚方南 [津田山手1丁目24-1 072-808-4126]
- ★ やすらぎの丘霊苑 [大字尊延寺4588 番4 072-896-1212]
- ★ 葎のいえ [中宮東之町15-12 072-805-2660]
- ★ ちいさいおれん みんなの里 [楠葉並木2-28-4 072-845-6814]

応援ありがとうございます！

LIP 応援団

米倉実華さん 高瀬美代子さん

福村房美代さん 渡辺洋一郎さん

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
27,323	前号から繰り越し
5,000	応援団
▼240	郵送代
▼500	12月ロッカー代
▼3,160	12月号紙代 印刷代
28,423	計(次号へ繰り越し)

■明けておめでとうございます。今年もLIPをよろしくお願いします。

■新年号そうそう、うれしいお知らせを2つ載せることができました。

ひとつは、LIPのメンバーでもある、フリーライター合田さんの雑誌「ともにいきるとともにまなぶ」の創刊(5ページ)！

もうひとつは、松ゆうき著「春へまっすぐ」の刊行のお知らせ(3ページ)。こちらは、昨年春から半年がかりの作業の成果です。

どちらもぜひ、手にとってごらんください！

■LIPは市民が伝えたいことを書き、市民が印刷し、市民が配布する地域密着型情報紙です。いつでも原稿やボランティアを募集しています♪ (w)

そのほか

- ★ 龍谷大学 深草学舎ボランティア・NPO活動センター
[京都市伏見区塚本町深草67 075-645-2047]
- ★ フレッシュベーカー ラッキー [寝屋川市早子町18-1 072-821-0413]
- ★ ヘアーサロンおもち [交野市私部3-17-2 072-891-5024(予約優先)]
- ★ NPO法人 ゆいむ(結夢) [交野市私部7丁目12-58 072-810-7880]
- ★ えんでら村作業所 [交野市天野ヶ原町2丁目14-20 072-893-4890]
- ★ 小規模通所授産施設 ミルキーウェイ [交野市天野ヶ原町2丁目14-20]
- ★ 交野市役所 市長公室 [交野市私部1丁目1-1]
- ★ きさい植物園ファンクラブ事務局 [交野市私市7-19-14 072-894-0840]
- ★ わくわく科学館 [交野市私市6-10-2 080-3819-7292]
- ★ 大阪府衛生会附属診療所 [高槻市奈佐原955 072-696-3351]
- ★ 宇治田原社会福祉事務所 [綴喜郡宇治田原町荒木天皇2 0774-88-2394]
- ★ むく福祉会 ワークホーム れっつ [綴喜郡宇治田原町費田藤戸38-1 0774-88-5846]
- ★ 福山すこやかセンター内 ボランティア活動センター [福山市三吉南2-11-22 084-928-1346]
- ★ ベビーフェイスプラネット松井山手 [八幡市欽明台北1 ソフィアモール内 075-982-3271]
- ★ 「月桃の花」歌舞団 十三スタジオ [大阪市淀川区木川西3-4-20 2F 06-6885-8475]



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索

イラスト 表紙：平井由恵
P.6,7：よし美